

展 開 例 ( 7 )

- 1 小項目 日本憲法の基本原則と国民生活
- 2 指導目標 基本的人権と法の支配, 平和主義と我が国の安全, 国民主権と議会制民主主義などを観点として, 国民生活の秩序と安全を図るという立場から, 日本国憲法の基本的原則について理解を深める。
- 3 指導計画 (1) 基本的人権と法の支配…………… 4時間(本時は3時間目)  
(2) 平和主義と我が国の安全…………… 3時間  
(3) 国民主権と議会制民主主義…………… 3時間
- 4 本時の学習指導案

題材	新しい人権の主張と公共の福祉		
ねらい	(1) 現代においては, 新しい人権の主張が生まれてきたことを理解させる。 (2) 新しい人権の主張の事例を通して, 基本的人権と公共の福祉について考えさせる。		
過程	指導内容	学習活動	指導上の留意点
導入	1 環境の汚染と破壊	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料①を読み, 新しい人権の主張があることを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境権は, 社会の変容に伴って空気, 水, 日照, 静穏などについて主張されるようになったことを理解させる。</li> </ul>
	2 環境権の主張とその内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料①の「新幹線公害訴訟」の原告の主張を読み, 私がこの原告と同じ立場だったらどうするか考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境権の概念は, その範囲も不確実であり, 特に憲法に明記されたものではないが, 憲法第25条などの規定を根拠にして主張されていることに留意させる。</li> </ul>
展開	3 環境権と公共の福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ この原告の主張について, 賛成, 反対, 中立の立場の三つのグループで討議する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原告の立場</li> <li>・ 国鉄の立場</li> <li>・ 各人の人権の調整</li> <li>・ 公共の福祉</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 討議を通して, 基本的人権と公共の福祉との関係について考えさせる。</li> <li>○ 住民運動と住民エゴの問題にも目を向けさせるようにする。</li> <li>○ 憲法の人権保障規定を参照させる。</li> </ul>
	4 本時のまとめと次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公共の福祉によって基本的人権が制約される場合, 特に留意すべきことは何かを具体的にあげる。</li> <li>○ 次時の予告(法の支配と人権保障)を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 名古屋高裁の判決の内容を読ませ, 公共の福祉の意味を考えさせる。</li> </ul>
終末			